



今年の秋の読書週間は、
10月27日(水)～11月9日(火)
の2週間です。



最後の頁を開いた 違う私がいた

～お金が新しくなります～

6月に新五百円硬貨の製造がはじまり、9月には新千円札、新五千円札、新一万円札の印刷がはじまりました。新五百円硬貨は一足早く、11月から発行されます。(お札は2024年度に発行予定です) 肖像画は、

新一万円札は渋沢栄一(大河ドラマの主人公ですね! 日本資本主義の父)

新五千円札は津田梅子(6歳でアメリカに留学した女性教育の先駆者^{せんくしゃ})

新千円札は北里柴三郎(ペスト菌の発見、感染症医学の権威^{けんい})

北里柴三郎は、なんと今の千円札の野口英世の先生に当たります。渋沢栄一も、津田梅子も、調べるとおもしろい発見があるかもしれませんね。



名張市学校図書館だより中学校版 令和三年読書の秋号 発行: 教育センター

今回のおしらせ
●新紙幣・新硬貨^{しへい}
●SDGsを
考えてみよう



お金を調べるなら分類337を
見てみよう!



実は日本には二千円札
もあります。今は製造中
止なので、少ししか出回
っていないお金! 守礼門^{しゅれいもん}
が描かれているので、沖
縄ではよく見かけるら
しいです。見つけたらラッ
キーかも?



エスディージーズ

SDGsを考えてみよう

最近テレビでもよく耳にするSDGs。『持続可能な目標』という意味の英語、^{サステナブル}Sustainable ^{ディベロップメント}Development Goalsの頭文字をとったものです。SDGsは全部で17の目標がありますが、SDGs以外の内容の本でも、役に立つ本がたくさんあります。今回はそういう本をいくつか紹介したいと思います。読んだ後、さっそく自分でも出来ることが見つかるかもしれませんね。



【FACT FULNESS】

著：ハンス・ロスリング他 発行：日経BP

FACT FULNESS（ファクトフルネス）は、「データを基に世界を正しく見る習慣」を意味する造語です。46Pからの、世界中の人を所得レベルに応じて4つのグループに分類している解説は必見です。レベル1の生活は、1日1ドルの収入、移動手段は足、口にできるのは不衛生な泥水と、その泥水で調理したもの。200年ほど前までは、世界の85%がレベル1の生活をしていました。では今は何%でしょう？



【ぼくのまっぴい縫い】

作：神戸 遥真 絵：井田 千秋 発行：偕成社

ジェンダー平等というと、女性の社会進出について語られがちですが、男性側にも困ったことはあるわけです。手芸が好きなことを隠してサッカー部に所属している主人公。バレたら男のくせに、とからかわれるかもしれない、でも好きなことを隠すのはつらい。男だから、女だから、そういう枠組みにとらわれず、誰が何を好きでも、「そうなんだ」と肯定できる社会を目指していきたいですね。



【ゆる自炊BOOK】

発行：オレンジページ

料理中の工程をフルカラーの写真付きで紹介しているので、料理を始めたばかりの人が疑問に思う、調味料を入れるタイミングなどが分かりやすく解説されています。そして「これってまだ食べられる？くさりかけ野菜事典」が必見！キャベツの外側の葉っぱは食べられる？玉ねぎから芽が出た！にんじんの先が黒くなった！など、野菜の変化はどこまで食べられるのかが分かるので、食品ロスを防ぐことに役立ちます。



【ぼくたちはなぜ、学校へ行くのか。】

文：石井 光太 演説：マララ・ユスフザイ 発行：ポプラ社

57Pを読んでください。『戦争はいけない、と言うだけでは戦争は止まらない。差別はいけない、と叫ぶだけでは差別はなくなる。しっかりと自分の考えをつくりあげ、それを人にわかってもらえるようなことばにして伝えなければならない。そのために必要なのが、学校なんじゃないだろうか。』—毎日学校へ通い、勉強をしているみなさんが、改めて勉強の大切さを考えるきっかけになれば、と思います。

編集後記



SDGsという活動は、結局は『よりよく生きるためにはどうするか』ということになります。地球環境をよりよくするためにはどうしたらいいか、人と人がお互いよりよく、幸せに生きるためにはどうしたらいいか。地球も人も大切にすることがSDGsの考え方です。そのため、今生きている人間であるみなさんに出来ることが必ずあります。今、自分が出来ることをひとつ行えば、持続可能な目標に近づく確実な一歩を踏み出すことができるはずです。